

第445回鉄鋼流通問題懇談会議事録

日 時 平成30年7月26日(水) 14時30分より
場 所 茅場町「鉄鋼会館4階」日本鉄鋼連盟・第1会議室
出 席 者 経済産業省 黒田金属課長・篠原課長補佐
橋本会長(JFE スチール)

全国鉄鋼販売業連合会

会長 阪上(清和鋼業)
副会長 齊藤(栄鋼管)
常任理事 井上(明治鋼業) 山岸(東邦シャーリング) 森下(ダイサン)
早川(太田商事) 澁井(澁井鋼材)
幹事 宮崎(清和鋼業九州支店)
メーカー 南浦(JFE)
商 社 御宿(伊藤忠丸紅鉄鋼) 小田(メタルワン) 伊藤(岡谷鋼機) 日高(住友商事グローバル
メタルズ) 島尾(JFE商事) 間瀬(阪和興業) 南(兼松トレーディング) 持木(日鉄住
金物産) 上之園(エムエム建材)
鉄 連 桑野
事務局 五藤、内海

議 題 1. 全鉄連流通動態調査報告
2. 全鉄連情勢報告、地区別概況報告、阪上会長総括
3. 意見交換および商社品種別報告、メーカー報告
4. 経済産業省挨拶
5. 会長挨拶

配付資料 (1) 全鉄連流通動態調査結果表(平成30年6月分)
(2) 各地区業況アンケート7月調査結果
(3) 品種別報告、メーカー報告
(4) 鉄鋼需給推移表(平成30年6月1次速報)
(5) 普通鋼鋼材主要品種別生産推移表(平成30年6月1次速報)
(5) 全国市中鋼材数量調査(平成30年3月確報)

経 過

1. 流通動態調査報告

事務局より、配付資料に基づき、6月分の全鉄連流通動態調査結果について報告があった。
別紙、流通動態調査結果(平成30年6月分)参照。

2. 全鉄連情勢報告

常任理事・理事より各地区の情勢報告、全鉄連事務局よりその他地区情勢報告があり、阪
上会長が総括した。各地区の情勢報告は別添参照。

阪上会長総括

各地区の報告を受け、阪上会長が以下のとおり総括した。
建設関連についてはゼネコン、ファブ(鉄骨加工業者)の能力は満杯でこれ以上、施工が増える
余地はない。自動車、建機も堅調だが、この1年を見ると全鉄連統計の販売量はほぼ横ばい。
減ってもいないが、堅調な割には全鉄連の販売に結び付いていない。在庫もやや増加し、タイ
ト感には乏しい状況である。流通段階では期待したほど堅調さを実感できていない。

3. 意見交換

①商社・品種別概況報告

鋼管(メタルワン・小田鋼管事業部鋼管課長)薄板(住友商事グローバルメタルズ・日高薄板事業部薄板第一チームサブリーダー)厚板(阪和興業・間瀬厚板部厚板第一課長)棒鋼・形鋼(日鉄住金物産・持木建材営業第一部形鋼課長)の5品種について概況報告が行われた。報告内容は別添資料を参照。

②メーカー報告

高炉(JFEスチール・南浦営業総括室課長)より、最近の景況感などについて報告が行われた。報告内容は別添「メーカー報告」を参照。

4. 経済産業省挨拶

新担当官になった経済産業省金属の課黒田課長より鉄鋼業界の発展のために貢献していきたいと挨拶があった。

自動車や自動車部品に関する輸入制限措置についてアメリカの商務省で公聴会が開催された。日本からは、日系自動車メーカーはアメリカの経済や雇用に貢献しており、自動車に対する輸入制限措置の発動は経済へ米国経済ひいては世界経済に悪影響を与えうるので、いかなる貿易状況でもWTOと整合性を図るべきという考えを示した。今後も動向を注視していく。

昨日(7月25日)のアメリカとEUとの会議でアルミ・鉄鋼製品の米国製品にEUが課している関税解消の取り組みについて合意に至った。現在、鉄鋼製品については情報収集中である。

5. 橋本会長挨拶

橋本会長より概略以下のとおり挨拶があった。

少し3ヶ月前より、地域、品種ごとに温度差が出ている。マーケットは総じて良い方向へ向かっているが統計に現れていない。鋼材のSCMの中で加工能力、物流のボトルネックが発生し、顕在化している。予想したほど物の流れが出ていない。全体的な市場動向は悪くないものの市場の活動水準からすると店売りから需要分野への流れで、見込み発注にズレが生じ、若干荷余り感が出ている。需要動向を綿密に見ながら生産、受注活動を進める必要がある。

※次回の会合予定

平成30年10月25日(木)午後2時30分より開催。会場は鉄鋼会館4階・日本鉄鋼連盟・第一会議室。

以上